

ボクのワタシの 学校自慢

番外編 第五弾

『ボクのワタシの学校自慢』では、鹿浜地域学習センター近隣小・中学校の学校自慢をご紹介します。

今月は、鹿浜未来小学校・児童の登校を見守る学童擁護スタッフの活動取材しました。

鹿浜未来小学校児童の登校を見守る学童擁護スタッフ

足立区シルバー人材センター会員が従事

鹿浜未来小学校は、旧鹿浜西小学校と旧北鹿浜小学校が統合し、令和5年度4月に新校として誕生しました。

現在、鹿浜未来小学校児童の登校時の安全を見守る学童擁護スタッフは6人います。全員が足立区シルバー人材センターに登録する会員として学童擁護の仕事に従事しています。

学童擁護スタッフは3人1グループとなり、鹿浜未来小学校が休みの日を除き、1日おきに交代で活動しています。

通学路を児童が安全に登校できるようにサポート

児童が登校する午前7時30分頃から8時30分頃までが見守りの時間帯です。

学童擁護スタッフは、天気の良い日でもドライバーなどから目立つように反射材テープのついた見守り用のベストを着用します。「横断中」と書かれた旗は、児童が横断歩道を渡る際に使用するそうです。また、雨や雪の日は、傘と旗を持つと両手がふさがるため、レインコートを着用しているとのことでした。

交通量が激しい場所での道路の横断

鹿浜未来小学校の通学路における見守り地点は、東京都道107号線上にある北鹿浜北歩道橋付近の交差点と、環七北通り上の交差点です。

東京都道107号線上の見守り地点の先には、環七通りがあります。そのため、見守り地点付近は交通量が激しいそうです。さらに、鹿浜未来小学校以外の地域の小中学生も登校に使う横断歩道は利用者が多く、特に注意が必要な場所とのことでした。



▲鹿浜未来小学校 学童擁護スタッフの皆さん



▲学童擁護スタッフは見守り専用のベストを着用



▲信号待ちをする児童

見守り活動で気を付けていること

学童擁護スタッフ・リーダーの上村範章さんに、見守り活動をする上でどのような点に注意をされているのかを伺いました。

上村さんは「道路が混雑している時には車が数珠つなぎの状態で見守りに入り、児童が渡る横断歩道上で停止しそうな事があるので、気を付けています。また、児童が横断歩道を渡り終える前に道路を曲がろうと急いでいる車がないか、確認をしています」と話されていました。

子ども達の良い変化を教えてくれる

鹿浜未来小学校の校門では、毎朝、登校する児童を先生方が出迎えます。一人一人と挨拶を交わし、児童の様子に気を配りながら、登校時間を守って元気に登校することができているのかを見守っています。

生活指導主任の山田彩子先生は「児童を毎日見守ってくださる学童擁護スタッフの皆さんには、いつも助けられています。子ども達の良い変化を見つけると教えていただけるのがありがたいです」と話されていました。



▲児童の横断歩道の通行を見守る学童擁護スタッフ



▲鹿浜未来小学校 生活指導主任 山田彩子先生

鹿浜未来小学校・学童擁護スタッフ インタビュー

——学童擁護スタッフとなった経緯を教えてください

鹿浜地域の他の小学校で3年ほど学童擁護のスタッフをした経験があります。鹿浜未来小学校開校の際、学童擁護スタッフのリーダーに経験者を探しているとのことで足立区シルバー人材センターの職員の方から仕事を紹介していただきました。

——やりがいを感じる時はどのような時ですか？

鹿浜未来小学校の児童は、いつも笑顔で元気よく挨拶してくれるので、やりがいを感じます。

私は鹿浜地域に長年住んでいて、息子達は旧北鹿浜小学校の卒業生です。鹿浜地域にとっても愛着があるので、この仕事ができ誇りに思っています。



▲鹿浜未来小学校 学童擁護スタッフ・リーダー 上村範章さん
現在92歳、健康の秘訣は「自分でできることは自分でやる」だそうです。

お知らせ

今号で『ボクのワタシの学校自慢』番外編が終了し、次号より本編の小学校編がスタートします。第一弾は鹿浜第一小学校の活動の特集です。